

- ・会議の日時及び場所  
日時 平成26年10月24日(金) 午後1時40分  
場所 小山市立中央公民館 試写室
- ・会議の組織人員  
人数 6人
- ・出席委員  
1 番 福井 崇 昌  
2 番 神山 宜 久  
3 番 福地 尚 美  
4 番 新井 泉  
5 番 西口 絹 代  
6 番 酒井 一 行
- ・説明のため本会議に出席した職員  
教育部長 片柳 理 光  
教育総務課長 添野 雅 夫  
学校教育課長 中島 利 雄  
生涯学習課長 栗原 要 子  
文化振興課長 田村 秀 雄  
生涯スポーツ課長 篠田 稔  
博物館長 水川 和 男
- ・書記  
教育総務課課長補佐兼総務政策係長 小林 功

## 議題

### 報告事項

- 1 教育総務課
  - ・寄付受入れについて
  - ・小山市制60周年記念事業「子どもから未来の小山」絵画・作文コンクール  
選考結果について
  - ・城南地区新設小学校及び小中一貫校及び学校適正配置(学区・学校の再編)等  
(豊田中学区・絹中学区)アンケート調査結果について
- 2 学校教育課
  - ・平成27年度小・中学校職員定期異動方針について
- 3 生涯学習課
  - ・小山市制60周年記念 第9回小山市青少年健全育成大会の開催について
- 4 文化振興課
  - ・第24回小山市文化振興大会(～小山市制60周年記念～第61回市民文化祭  
開幕祭)の開催について
  - ・小山市制60周年記念市民オペラ「小山物語」公演について

## 5 生涯スポーツ課

- ・小山市制60周年記念・小山市スポーツ都市宣言記念  
「第2回小山市フォークダンスフェスティバル」の開催について
- ・平成26年度大会結果速報について

## 6 博物館

- ・小山市制60周年記念・第64回企画展  
「指定文化財でふりかえる小山の歴史」開催について

## 協議事項

### 1 教育総務課

- ・小山市学校運営協議会規則（案）について

### ○添野教育総務課長

皆さん、こんにちは。10月の定例教育委員会にあたり、まず会議録署名委員の指名ですが、今回は、神山委員さんをお願いしたいと思います。

それでは、委員長、よろしく願いいたします。

### ○福井委員長

それでは、ただいまより10月の定例教育委員会を開会いたします。

最初に、報告事項でございます。私から1点です。10月17日に栃木市にて下都賀地区市町教育委員会連合会の定例会がございました。主な議題は、平成27年度小中学校職員定期異動についてでございます。これにつきまして、例年のとおり異動方針など教育長部会に事務委任したところでございます。それから、平成26年度の事業、会計の中間報告ということで報告がございました。関連いたしまして、平成26年度栃木っ子学習状況調査報告の概要。それから、下都賀教育事務所から地方教育行政法の組織及び運営に関する法律の一部を改正ということで、教育委員会制度の改革について説明がありました。これは、我々は協議というか、勉強会の中でやっているような事項でありまして、おおむね同じようなレベルのお話でございました。

私のほうからの報告事項は以上でございます。

教育長からお願いいたします。

### ○酒井教育長

10月でありますけれども、各種行事等が多うございましたので、それらについてまずご報告をさせていただきます。

10月3日、大谷北小学校、梁小学校で稲刈り収穫祭、それから20日にも寒川小学校で稲刈り、収穫祭がございました。本年度7校が実施させていただいたわけでありまして、体験を通して子供たちに豊かな心を育むということで成果を上げているところであります。5日、6日、これは保健福祉部担当でありますけれども、ねんりんピック2014の栃木大会が開催されまして、小山市におきましては県南体育館で剣道、プール館で水泳が行われました。剣道では、桑公民館の加藤先生が栃木Aチームで優勝、水泳では本市の山中國雄さんが50メートルバタフライで優勝、それぞれ成果を上げ、先だって市長報告もあったところであります。

7日でありますけれども、下都賀地区のPTA指導者研修会が藤岡で行われまして、教育長部会を代表して行ってまいりました。お子様がいじめによると思われる自殺でお亡くなりになりました小森美登里さん、いじめ防止ということで切々たるご講話がありました。

12日には、秋季学童相撲大会、間々田の八幡様で行われ、13日にはおやまスポーツ・レクリエーションフェアが行われるわけでしたがございましたけれども、台風の影響で中止をさせていただきました。明けて14日、市内全ての小中学校につきましては台風18号関係で1時間おくらせて始業ということでありました。大きな被害がなく過ぎ去ってくれましたので、ほっとしていたところでございます。

19日、子ども司書講座修了式がございまして、小学校6年生、10回にわたりまして司書にかかわる勉強会が行われ、今後学校や地域、さらには図書館等で学んだ知識などを生かして司書などに取り組むとともに、読書の拡大を図っていくというような目的で設置されたものでございます。同じく大ホールでハンドベルフェスタが行われまして、盛大に開催されました。

校長、教育長としましては、21日に下都賀地区の校長研修会が小ホールで行われ、人事異動あるいは学校訪問等を通しての課題や成果などについて報告、指導がございました。

22日でございますけれども、県で人事問題研究会がございまして、午後、都市教育長部会、また夜には親交会、歓送迎会等がございました。

それから、教頭、校長等の研修会でありますけれども、16日には教頭会、20日に主幹教務主任研修会、23日に校長会を開催させていただきました。それぞれ課題は違う部分もあるわけですが、学力向上、いじめ不登校の防止、あるいは次年度に向けて本年度の成果を踏まえた上で、特色ある教育課程の編成をしていただきたいということで指示をさせていただいたところでもあります。住民の皆様向けに行われている幾つかの推進委員会でございますが、20日には城南地区新設校推進委員会、21日には絹中学校区一貫校推進委員会、本日この後、豊田地区の小中一貫校の推進委員会等が行われる予定でございます。

以上、報告をさせていただきました。

○福井委員長

続きまして、教育部長からお願いします。

○片柳教育部長

私のほうから1点でございます。委員の皆様にもご案内が行っているかと思いますが、26日、あさってになりますけれども、9時半から文化センター大ホールにおきまして市制60周年記念式典が実施されます。内容につきましては、市政功労者の表彰、あるいは友好都市関係の締結式、夢レターの発送、子供たちから未来の小山の作文と絵画の表彰等盛りだくさんとなっております。9時から受け付け開始ということになっておりますので、委員の皆様にも出席をよろしくお願いいたします。

なお、式典におきまして、先ほど申し上げました、また本日この後報告ということで教育総務課のほうからございますが、60周年を記念しまして「子どもから未来の小山」ということで、絵画、作文の募集をいたしました。そちらの表彰式もとり行われます。また、本式典には市内小中学校長及び各学校から児童生徒代表各2名が参加をすることになっております。

以上でございます。

○福井委員長

続きまして、教育総務課長からお願いします。

○添野教育総務課長

教育総務課からの報告事項については、3点でございます。まず3ページの寄附受け入れ報告でございます。教育委員会に小山モラロジー事務所より金5万円が寄附をされております。そのほかに中央図書館に蔵書の寄附がございました。

続きまして、4ページをごらんいただきたいと思います。先ほど部長からもありましたように、市制60周年記念事業といたしまして、「子どもから未来の小山」ということで絵画、作文のコンクールを実施しました。応募件数及び選考結果でございますが、絵画部門では小学校352点、中学校67点の計419点、作文部門は小学校94点、中学校18点の計112点の応募がございました。この中から4の選考経過を経まして、最優秀1点、優秀2点、優良2点の各部門5点で計10点の選考をさせていただきました。入賞者等につきましては、5に記載のとおりでございます。なお、この作品については、文化センター大ホールのロビーのほうに既に掲載をしております。作文と絵画、5点ずつでございますので、もしお時間いただければ、帰りにでもごらんいただければと思います。なお、式典の当日に入賞者の表彰を実施いたします。壇上に上がるのは最優秀賞受賞者のみでございます。なお、作文は朗読をしていただくことになっております。以上が絵画、作文コンクールの選考結果についてでございます。

続きまして、5ページでございます。城南地区新設小学校及び小中一貫校並びに学校適正配置等のアンケート調査結果ということで、別冊で厚い冊子が3冊ございます。アンケートにつきましては、9月5日ごろから20日前後にかけてまして発送、回収をいたしました。回収状況でございますが、城南地区の新設校につきましては1,750票を配布いたしまして、650票、37.1%の回収率。豊田中学区については315票、46.6%、絹中学区は212票、47.2%の回収率でございました。

城南地区につきまして、アンケート調査結果を後でごらんいただきたいと思いますのですが、城南地区についてはどのような環境がいいとか、どのような施設が望ましいとかというようなことでもございました。なるべく早くつくってほしい。安全安心な施設をつくってほしいという要望があったところでございます。

また、豊田中学区のアンケート調査でございますが、5ページをごらんいただければと思うのですが、問6が認知度なのですが、約4分の3以上の方が小中一貫校や学校適正配置の名称あるいは中身を知っていたということで、まずまずの認知度であったかなと思っております。

また、7ページ、8ページをごらんいただきたいと思います。小中一貫校、これからの課題、進め方等でございますが、学校、保護者、PTA、自治会が一体的に取り組む体制がまだ十分ではないのではないか。それから、PRが不足している、またスケジュールがわかりづらい、効果が明確でないというようなご意見をいただいております。また、検討の進め方ですが、今後説明会を開催してほしいというような意見が多くございました。これに基づいて、今後推進委員会だけではなく、小学校区単位で説明会を開催していく予定でございます。

また、10ページをごらんいただきたいと思います。学校適正配置の課題ということになりますけれども、下のグラフにありますとおり、通学距離、通学時間が長くなる、通学路の安全性の確保ということにやはり課題があると思われております。

あと、12ページをごらんいただきたいのですが、自由意見ということなのですが、問15の○で豊田中学区なのですが、絹中学区になっております。誤りでございますので、大変申しわけございませんが、ご訂正をお願いします。また、自由回答の回答ありの割合が30.7%なのですが、完全に絹中学校のほうの学区の割合でございまして、正しくは32.1%が回答ありでございます。回答なしは67.9%でございます。

自由意見につきまして、当然お子さんのいる世帯が多いわけですが、やはり先ほどありましたように、通学距離や通学時間、通学路の安全性、それから教育環境、学校教育、部活動等の意見が多くなっております。13ページ、14ページには、そのさまざまな代表的な意見が、載っております。クロス集計のほうはいろいろ細かくついておりますので、参考までにごらんいただければと思います。差し込みのほうが間違っておりまして、大変申しわけございませんでした。

続きまして、絹中学区でございます。回収率はやはり47.2%ということございまして、アンケートとしてはまずまずの結果かなと思っております。また、5ページの認知度でございますが、8割以上が言葉あるいは内容を知っていたということで、認知度は高くなっているということでございます。また、その下の情報については、もっと詳しく知りたいという方が50%を超えているということで、意識の高さが見えるかなと思っております。

それから、7ページ、8ページでございますが、小中一貫校の課題ですが、やはり豊田中学区と同じような課題でございました。また、8ページの進め方についても、地域での説明会を開催してほしいという意見が4割以上を占めております。

10ページをお開きいただきたいと思います。学区、学校の再編についての課題ということでは、やはり通学距離、通学時間の問題、これが一番多くなっております。

また、12ページですが、これも自由意見の回答数は少なかったのですが、やはり意見をいただいているのはお子さんのいる家庭、世帯が多くございました。また、意見の分類でも、やはり通学の距離であるとか安全性に関するご意見が多くございました。どうしても通学距離が遠くなるということで、これに対しての意見はやはりスクールバスを導入していただきたいということでございました。クロス集計等の詳細については、後ほどごらんいただければと思っております。

以上、アンケート調査についてご報告とさせていただきます。

○福井委員長

続きまして、学校教育課長からお願いします。

○中島学校教育課長

お手元の議案書の6ページ、それから別にお配りいたしましたA4両面印刷1枚の平成27年度小中学校職員定期異動方針をごらんください。栃木県教育委員会及び下都賀地区市町村教育委員会連合会より、平成27年度の小中学校職員定期異動方針が出されましたので、報告いたします。これにつきましては、先ほど教育長の話にもありましたが、10月21日の下都賀地区の校長会、それから昨日行われました小山市の定例校長会で校長を通じまして各学校の職員に周知をしているところでございます。

別に配りました定期異動方針の1枚目にある8つの方針につきましては、昨年と変わりません。1番目に人材の抜擢、人事の刷新、2番目として、職員の資質向上のための機会としての異動であるということ。それから、3番目としまして、勤務実績や年齢や同一校勤務年数等を考慮して、適材適所に配置する。4番目として、職員構成の均衡、5番目として小中間の人事交流、6番目としまして広域にわたる人事の交流、職員構成の全県的な均衡、7番目としましてへき地教育及び特別支援教育の振興、8番目としまして新採用職員について、地域や学校間の職員構成を考慮した上での配置ということになってございます。

裏面のほうにいきまして、小中学校の方針の運用なのですが、それぞれについて説明がありますが、6として、市町村の合併による新たな市町の枠組みにおいて、基準となる在職年数等を踏まえ、市町間人事異動を積極的に推進するとございます。特に若手、中堅層の人事異動を推進するために、市町間異動を活性化するように努めるということが加わりました。

それから、その下の「7について」ですが、これまでへき地校につきましてはへき地学校等派遣教員実施要綱というのがございまして、特に希望者を募って県のほうに報告して異動していたのですが、この要綱が停止になりました。これからは、へき地を希望する職員につきましては、異動調書の欄に僻地希望と書ける欄はあるのですが、今までのように市町教委で取りまとめて出すということはありません。なお、現在小山市でこの3年間でへき地校に行っている職員は誰もございません。

以上が異動方針についての報告になります。どうぞよろしくお願いいたします。

○福井委員長

続きまして、生涯学習課長からお願いします。

○栗原生涯学習課長

それでは、7ページをごらんいただきたいと思います。

小山市制60周年記念第9回小山市青少年健全育成大会の開催についてのご案内でございます。次世代を担う青少年の視野を広げ、自立心や協調性及び社会参加の意思を育むとともに、彼らが健やかに成長するために地域で支え合う健全な環境、安全で安心な小山を広く訴えていくことを目的といたしまして、第9回の小山市青少年健全育成大会を開催いたします。今大会から青少年の主張作文コンクール及びアトラクション、青少年による自由パフォーマンスの2部構成になります。今回は、同時に小山市あいさつ運動の標語、ポスター作品コンクールの表彰式と作品展を開催いたします。日時になりますが、11月15日土曜日午後1時から4時30分まで、会場は文化センター大ホールでございます。先ほども内容でお話しましたが、開会行事は、青少年の主張作文コンクール、アトラクション、青少年による自由パフォーマンスです。その後表彰式、閉会行事と続きます。なお、大ホールロビーにおきまして、小山市あいさつ運動標語、ポスター作品展を同時に開催しております。教育委員の皆様には、ぜひご参加をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○福井委員長

続きまして、文化振興課長からお願いします。

#### ○田村文化振興課長

8ページをごらんいただきたいと思います。報告事項になり、2件あります。

まず、1件目ですが、第24回小山市文化振興大会、小山市制60周年記念第61回市民文化祭開幕祭の開催になります。趣旨としましては、文化振興大会については、豊かな人間性と連帯感あふれる地域社会の実現を目指し、文化活動に携わる関係者が一堂に会し、講演、発表等を通じて芸術文化の振興を図ることを目的に、市民文化祭の開幕祭として開催しております。内容としましては、日時、平成26年11月1日土曜日の1時から4時ということです。会場が、小山市立文化センター大ホールになります。主催が、小山市教育委員会、小山市文化協会になります。内容としましては、開会式、表彰式、記念公演としまして栃木県警察音楽隊によるミュージックパトロール、警察隊がやるものですから、パトロールというような名前になっております。4番としまして、小山市工芸クラブ連合会による抽せん会、以上のようなことになっています。

9ページのほうをごらんいただきたいと思うのですが、市民文化祭の予定表です。市民文化祭につきましては、10月31日から11月30日までということで、約1カ月間、舞台部門と展示部門が文化センターで開催されます。文化協会の加入団体それぞれの部門の方に発表していただく他、小学校、中学校の協力を得まして、音楽祭、学校ダンス祭を行います。合同作品展ということで作品の展示等もあります。

続きまして、10ページをごらんになってください。小山市制60周年記念市民オペラ「小山物語」の公演についてになります。趣旨としましては、平成16年5月に市制50周年事業として、また平成21年12月には市制55周年事業として、市民との協働により好評を博しました市民オペラ「小山物語」をことし市制60周年記念として、再演する次第であります。日時、平成26年12月7日日曜日13時30分開場、14時から17時までの予定になっております。会場が小山市立文化センター大ホール、主催が市制60周年記念市民オペラ「小山物語」実行委員会、小山市と小山市教育委員会になります。

内容としましては、中世の下野国小山を舞台にした全3幕6場。1、2幕は源頼朝が平家討伐に立ち向かった際の小山氏の苦悩と決断が中心となって、3幕が間々田のジャガマイタや思川の様子などを通して、庶民の生活が上演されるような形になります。参加者は市民参加ということで、出演者20名、合唱、オーケストラ150名。キャストについては、5月27日にオーディションで決めさせていただきました。入場料、前売り券3,000円、当日券3,500円、学生は1,500円。広報については、小山市広報他こちらに書いてあるとおりになります。

招待状は、皆さんのお宅へきょう発送させていただきました。二、三日のうちに着くと思いますので、よろしくお願ひします。

以上であります。

#### ○福井委員長

続きまして、生涯スポーツ課長、お願ひします。

#### ○篠田生涯スポーツ課長

生涯スポーツ課より2件ご報告させていただきます。

初めに、小山市制60周年記念小山市スポーツ都市宣言記念、第2回小山市フォークダンスフェスティバル開催についてご報告をいたします。市民ひとり1スポーツの普及推進を

図ることを目的に、昨年初めて開催し、今回が第2回となります。3の主催等でございますが、小山市、小山市教育委員会、小山市レクリエーション協会、そして主管ということで、小山市フォークダンスフェスティバル実行委員会を組織して実施するものでございます。5の日時でございますが、11月30日日曜日、開会10時、終了15時の予定でございます。開会式を11時から予定していることから、途中に開会式が入る形を想定しております。6の会場でございますが、県立県南体育館メインアリーナです。内容につきましては、ダンス交流、フォークダンス、レクリエーションダンス及び日本民踊の3部門を連携させて実施するものでございます。

その他でございますが、小山市内外のサークルに広く参加をいただく。それから小山市内全サークルの参加のもとに大会を運営し成功させる。3つ目としまして、冠事業ということで、盛大に実施する。以上の事に気をつけて開催を予定しているところでございます。

続きまして、平成26年度大会結果速報、9月12日から10月10日分でございますが、さきの仁川アジア大会で萩野選手が4冠に輝き、MVPを受賞する大活躍をしたところでございます。

以上、報告とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

○福井委員長

続きまして、博物館長からお願いします。

○水川博物館長

13ページをお開きいただきたいと思います。小山市制60周年記念第64回企画展「指定文化財でふりかえる小山の歴史」と題しまして開催するものであります。2の要旨でありますけれども、市内に残され、特に価値が高いとされる指定文化財、本年7月現在で国指定13件、県指定17件、市指定103件、計133件が指定をされております。これらについて、市制60周年を記念しまして、歴史の流れに沿って紹介することを通して、郷土の歴史や文化を振り返る内容といたしました。3の会期でありますけれども、11月1日から来年の1月12日まで、開館日数54日間で開会いたします。

また、4の概要でありますけれども、(1)の展示内容といたしまして、文化財を原始、古代から近代という時代で区分し、実物資料とパネルで紹介をしていくものであります。2の記念事業でありますけれども、11月3日の元文化庁文化財調査官、菊池健策氏による「文化財とは何か～文化財保護の考え方」ということで記念講演をいただきます。また、小山市の文化財めぐりということで、市内の文化財を学芸員の解説を聞きながらバスでめぐるといふ企画をいたしております。11月15日の小山の文化財めぐり古代編から、最後の12月6日の小山の文化財めぐり近代編まで、それぞれの担当学芸員が解説をいたします。また、講座といたしまして、「ここが知りたい小山の歴史」ということで、小山の歴史からテーマを選定し、それぞれの学芸員が解説を行うものであります。「古墳が語る小山～琵琶塚・摩利支天塚古墳を中心に」から「発展の礎・小山の養蚕」まで、4回シリーズで講座を開催いたします。

5の休館日については記載のとおりであります。6、入館料につきましては、大人200円、大学、高校生100円、小中学生が無料ということになっております。

以上です。よろしくお願ひいたします。

○福井委員長



報告事項につきましては以上でございます。

これらにつきましてのご質問、ご意見などをお伺いしたいと思います。

西口委員、どうぞ。

○西口委員

生涯学習課長にお尋ねいたします。

7ページのアトラクションの内容については、事前に何か提出いただくものはございますか。

○栗原生涯学習課長

このアトラクションでございますが、今回初めて実施するものでございます。公募があった3件の中から審査をいたしまして、今回2件の団体の方にアトラクションに参加していただきます。青少年による自由パフォーマンスということでございまして、小山城南高等学校のバンドが1組、それから同じく小山城南高等学校の生徒による、ギター演奏の2組となっております。

それから、先日の一夜御殿まつりで発表し、非常に好評だということで、小山城南高等学校書道部の書道パフォーマンスが、推薦で入れております。それから、もう一つ、マリリンバの演奏をする方が小山市にいらっしゃるのですが、その2組を加えまして、4組の方にアトラクションで発表をしていただくことで考えています。

本当に初めてのことでございますので、ぜひ教育委員の皆様にはご出席をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○福井委員長

西口委員、どうぞ。

○西口委員

生涯スポーツ課、11ページのフォークダンスなのですけれども、参加費無料ということでございますけれども、高齢者なども参加していらっしゃると思うので、けがとかに対する保険などは、大丈夫でしょうか。

○福井委員長

生涯スポーツ課長、どうぞ。

○篠田生涯スポーツ課長

保険をかけさせていただいており、人数についてはかなりの参加をいただいても大丈夫なように対応しているところでございます。また、体育館ですので、医務室において十分な手当ができるようにしていきたいと考えております。よろしく願いいたします。

○福井委員長

福地委員、どうぞ。

○福地委員

寄附のところなのですが、現金で寄附をいただきますね、5万円という。これはどのように使われるのでしょうか。

○福井委員長

教育総務課長。

○添野教育総務課長

これは、小山モラロジー事務所で、児童生徒交流基金に使っていただきたいということ

でございますので、基金に組み入れさせていただきます。

○福井委員長

新井委員、どうぞ。

○新井委員

小中学校職員定期異動についてですけれども、7番のへき地教育というところで、栗山村というのは前に聞いたような気がしたのですけれども、ほかにもあるのでしょうか。

○福井委員長

学校教育課長。

○中島学校教育課長

そこは詳しく調べておりませんで、申しわけございません。

○福井委員長

私、会議に出たものですから、説明を受けました。栃木県ではへき地というのに該当するところがもうなくなったということをしていました。要綱を廃止するというそんな説明だったですね。もうへき地に該当するところがない。

〔「足尾とか三依ですよ」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

だから、全県下でやらないで、日光地区でやるということなのかな。

○酒井教育長

通常の地区内の異動あるいは他間交流でへき地を希望する。制度による人事異動ではなくて、あくまでも通常の異動の中での希望を募るということであります。

○福井委員長

私のほうから追加で、先ほどの人事定期異動の方針の中で説明がありましたけれども、これは教育事務所からの説明でありましたが、今後の問題として、非常に教員の年齢が高齢化していて、なおかつ8年度以内に3分の1ぐらいが入れかわってしまうというのが実態なのだそうです。その辺も踏まえて長期的に見ると、職員の年齢構成が非常にゆがみが出てきているので、その辺が人事異動では難しいというような説明がありました。これは、小山市ということではなくて、地域全体の話です。

それから、教員の受験資格年齢についても、従来は40歳だった。それを45歳に引き上げるといふようなこともしていました。年齢の幅が広がるということです。

〔「募集に対してですね」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

そうです。

西口委員、どうぞ。

○西口委員

12ページ、生涯スポーツ課の萩野公介君のすばらしい輝かしい記録なのですけれども、たしかこの中に大会記録とか、新記録とかあったと思うのですけれども、いかがでしたでしょうか。優勝だけではなく。

もしそのような場合は、書き添えていただいたほうがよろしいかなと思ひまして。

○篠田生涯スポーツ課長

調べて答えさせていただきます。

○福井委員長

福地委員、どうぞ。

○福地委員

博物館にお尋ねします。

11月3日の元文化庁文化財調査官、この方の講演ですか、これはどちらの場所で。

○水川博物館長

博物館の視聴覚室で行います。

まだ時期がありますので、よろしくお願いします。

○福井委員長

神山委員、どうぞ。

○神山委員

話が戻りますけれども、人事異動ですが、毎年出てくるのだけれども、中身はそんなに変わっていない。毎年同じような内容で出てくる。配置を工夫するのが大変だという話なのだけれども、人員配置大変なのは年功序列だから大変なのですね。

それで、校長の任期年数をもっと長くしてくれと。校長になったら10年以上校長を務める。1つの学校で5年から6年務める。そういう体制がとれないものですかねというのを前から何回も提案しているのだけれども、一向にならない。校長になってあと1年か2年で定年になるという人は、問題が起きないように守りに入るのです。定年まで可もなく不可もなく過ごしたい。これは誰でも同じ心理になると思います。ところが、10年も15年も期間がある人が校長になると、40代後半で校長になると、校長としての仕事をするはずなのです。学校を任せるわけですから、そういう人材を抜擢する目を選考委員の人に持ってもらいたい。この1番目の項目ですね。人材を抜擢して、若手で校長に向いているという人材を探し校長にさせる。それで、学校をもっと活性化させる。そういうのが必要だと思うのです。

小さい学校でも、校長の考え方一つで学校が物すごく変わるのです。すごくよくなった学校というのは、みんなが評価するべきなのです。あの校長のおかげでこの学校はこんなによくなったという学校をあちこちにつくるべきなのです。学校の規模でランクづけではなくて、中身でランクづけしていただきたい。それには、選考する人は自分の目を養うのが大変かもしれませんが、学校に足しげく通って抜擢する人材を捜し歩いてほしいと思っています。必ず学校というのはよくなります。

今度は、道徳教育が教科になると言っていますけれども、道徳教育が教科になって、本当に子供たちの道徳心上がるかどうかというのは疑問なのですね。道徳というのは学校で教えたから、子供たちが成長するのではなくて、親兄弟、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんから、その生活の中から道徳というのは生まれてくるのです。学校で教える道徳というのは、それに肉づけをするだけなのだと。今の道徳がうまくいっていないというのは、社会が、子供の家庭がうまくいっていないからなのだと思うのです。そういうことがあるものだから、もっと学校というのは活性化されないといけない。去年と今年同じだとうまくないと思うのです。去年よりもよくならないと。校長先生が変わったのだけれども、この学校何も変わらなかった。変わらなかったからいい校長なのではなくて、よく変わってもらわないといい校長にはなれないと思うのです。

教職員というのは、物すごい能力を持った人がいっぱいいますから、年功序列で潰してしまうのはもったいない。若手を抜擢して、能力を発揮させて初めてまちがよくなっていくのだと思っているのですけれども。そういうのを一言、この選考委員会で言っていただけるとありがたいのですが。よろしく願いいたします。

以上です。

#### ○福井委員長

今の問題は、私この間の下都賀地区の定例会に出まして、きょうの資料には入っていませんでしたが、平成27年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果というのがあるのです。これを見ますと、神山委員が言うように、校長の抜擢ではなくて、新人の抜擢という意味では幾つかの項目が入っています。既に特別教育、特別支援学級を経験した人とか、スポーツの指導実績というような案件、教職経験とか、奉仕の経験、英語の資格を持っている人とか、幾つかの項目があります。採用試験のときの抜擢みたいなものですね。さらに、先ほどの教職員の3分の1ぐらいが入れかわってしまうという案件に対して、何ととっても教員の資質の向上、この2番目ですね、これが重要だということで、ネクストステージ研修というのが、30代に県としてもやるというような説明を受けました。一番最後の神山委員のご指摘の校長、管理職の抜擢ということに関しては、下都賀教育事務所、県のほうの方針というのは特別そのときには示されなかったということをおのほうから報告しておきます。

そのほか何か教育長のほうからありますか。

#### ○酒井教育長

幾つかご提案をいただいたわけでありまして、まず異動方針については、県の教育委員会で従来どおりですよという説明があったわけでありまして、その県の教育委員会で継続して長期的な展望に立って人事行政を行っているわけですので、それに対して下都賀地区の市町教育委員会連合会、つまり私たちの会でありまして、同じ歩調で協働してやっていきたいと思いますという形の示し方になっているわけでありまして、ですから、本来は県の教育委員会に対して今のお話は私がしていかなければいけないので、教育事務所に対してこういう意見があったということについてはお話をしていきたいと思っております。

また、人事ということに関しましては、校長登用、教頭登用、もろもろあるわけでございまして、校長になるためには教頭でなければならない。ただし教頭になるためには、資格がないわけでございまして、その順を追ってとか、年功序列であるというような考え方で言えば、教務主任であるとか、あるいは主幹教諭を経験しての教頭ということでありまして、私ども小山市におきましては少なくとも教務主任、主幹教諭を経験しない人間をもって、例えば事務局からであるとか、これは他市町でも行われているわけでありまして、教務経験のない教諭、一教諭でありますけれども、人格、識見、そしてまたペーパーテストなど良好であれば、登用する形をとらせていただいております。ですから、管理職に登用するだけの抜擢ということではなく、主幹に登用するであるとか、あるいは採用試験で採用するとか、こういうことも含めて言っているのであろうと捉えております。

それから、校長の年齢とか規模の問題でありますけれども、従来から小規模な学校から大規模な学校へ異動が行われる傾向が非常に強い。このことについては、いかがなもので

あろうかということをつらつら話題にしているわけでありませぬけれども、逆のことをした場合に、世間の目がややもしますと、何かあって左遷されたのではないかと、このようなこともございますので、その人間の人格にもかかわるような問題になってきますので、これはやはり民意というものを大切にした場合には、慎重に行っていかなければいけないということがございますので、そういった意見があるということをつらつらながら、私どもはやらせていただいているつもりでございます。ですから、必ずしも100%校長が中規模から大規模へということではございませんので、この辺につきましてはご理解をいただければ。例えば今年度の4月の人事におきまして、大きな中学校から中規模な中学校へ異動した校長もございますので、その辺についてはぜひともご理解をいただきたい。

それから、年齢の問題でございますけれども、今おおよそ校長の昇任が52歳になっております。きょう話題になっておりましたけれども、教職員の平均年齢、これは県も小山市もほぼ42,3歳なのです。これが町にいきますと、45歳であったり47歳であったり。極端な例もあるわけでございますけれども、今56歳が一番多い世代でございますので、そこを頂点にピラミッド型、非常に偏った形になっておりますので、52歳ぐらいが現在実績であると。ただし、私の場合には48歳でさせていただいたわけでありませぬけれども、今若い教員は40代では出ていないというような現状でございます。教頭も同様に、大体49歳から50歳が最年少ということでありませぬので、これは受験者数が多い。年齢で登用しているわけではありませぬけれども、やはり人格、識見、経験、そしてまたペーパーテスト、面接テスト、もろもろが加味されるわけでありませぬので、結果的にそのようになっているのかな。

私の場合も2年、3年、3年、4年と、4校経験させていただきましたけれども、やはり2年というのは短いような気がいたします。ただ、これが4年になってまいりますと、若干マンネリ化してしまった感じもしているわけでありませぬけれども、以前は十何年、校長を務めた。こういう例もあるわけでありませぬけれども、教職員は8年で異動させるというのは、やはりマンネリ化させない。新陳代謝を図るということと、やはり異動というのが一つのきっかけになって、また勉強していただけるということでありませぬので、校長は3年は1校に在職してほしい。ただし、登用年齢が55歳でございますので、5年残しということになりますので、そのときに適切な学校に入って、5年間お務めいただける場合もありますし、これを分けますと、2年、3年あるいは3年、2年ということになってまいります。また、残り4年で校長になった場合には4年お務めいただく場合もありますし、それが2年、2年という形にもなる場合がございますので、以前と比べて若干短い気持ちはいたしますけれども、今の年齢構成のなせるわざではないかなと考えているところでありませぬ。

また、極端に人材を抜擢ということもございませぬけれども、諸外国の例でございますので、大学を卒業するときに校長、いわゆる管理職コースを卒業する方と、一般教員を生涯にわたってやるコースを卒業される方と分けている例もございませぬ。30代でドイツでは校長というのがございましたけれども、これからだんだんと日本の教育制度のあり方というものも変わっていくのではないかなと捉えているところがございますので、現在の制度の中ではよくよく吟味をしながら、栃木県教育委員会と、それから下都賀地区の市町教育委員会連合会、特に教育長部会でありませぬけれども、よく両方ですり合わせをしながら、人事異動に当たらせていただいている。そんなところもございませぬので、校長の異動、校長の登

用、在職年数等につきましてはこういう意見がありましたということについてはしっかりと受けとめて、また県の教育委員会に対して働きかけてまいりたいと思いますので、その点につきましてはぜひともご理解をいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

生涯スポーツ課長。

○篠田生涯スポーツ課長

先ほど西口委員さんのほうからご質問いただきました大会結果速報に関して、萩野公介選手、4冠を達成しておりますが、そのうち2つについて記録の更新がございました。男子200メートル自由形、こちらが日本新記録になります。自己新記録ということでもあります。それから、一番下から2番目、男子400メートル個人メドレー、これが大会新というようなこととございます。よろしくお願いいたします。

○福井委員長

報告事項についてはいかがですか。ほかにございませんか。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

先ほどの教育長から報告がありましたねりんピックの剣道の試合を個人的に見に行ったのですが、学校の校長先生を経験した佐藤先生と加藤先生、小山市になるとその2の方が圧倒的に強いんですね。これはすごかったですね。上段の構えで、佐藤先生も加藤先生もそうなのですね。上段で構えると、相手の人はほとんど上段の経験がないので、びびってしまって、ぽんと勝ち進んでいったという感じだったですね。本当に見ていまして、60歳を過ぎても鍛えれば違うのだなという感想でございます。皆さん真剣で本当に迫力あって、すばらしい試合だったなということで。私のほうからもご報告をしておきます。

報告事項についてはいかがでしょうか。ほかにございませんか。

福地委員、どうぞ。

○福地委員

文化振興課の市民オペラ「小山物語」に福井委員長も出演されるそうです。皆さんも応援に訪ねるとよろしいのではないのでしょうか。

〔「皆さんのところへ招待状が届くので、ぜひ」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

今小山物語も、私も合唱団として練習に参加しておりまして、配役の中で豊島清元というので名前が載っているんですね。小さい字で載っていますけれども。これはキャストというよりも、むしろセリフを言う役割で、ソリストではありませんので、気楽なのですけれども。既に楽譜を置いて練習するというぐらいのレベルまでいってございまして、皆さん演技指導に入っています。皆さん、平均年齢でいくと合唱の人たちは高齢なのですが、本当に頑張っているという感じがいたします。文化振興課を中心にスタッフも一生懸命舞台設定もやってくれているという気がいたします。文化振興課長も練習のときに来て、一回見てもらおうと皆さん喜ぶますので、ぜひよろしくお願いいたします。大分見ているおもしろいなという感じになりましたので、ぜひいらしてください。

報告事項につきましては、ほかにございませんか。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

なければ、報告事項を以上で承認するという形でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、報告事項につきましては、報告のとおり承認したいと思います。

続きまして、きょう配った資料の中に定例教育委員会付議事案（協議事項）というのがあります。小山市学校運営協議会規則ということでございます。これについての説明をお願いいたします。

<協議事項について説明・意見交換>

○福井委員長

そのほかは何かありますか。協議事項というか、報告、勉強会は。特別ないですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、次回の教育委員会の日程の説明をお願いいたします。

○添野教育総務課長

次回の教育委員会の日程でございますが、11月13日の木曜日を予定しております。時間につきましては、またご通知差し上げますので、案件の内容とあわせてお伝えしたいと思います。

○福井委員長

それでは、以上をもちまして10月の定例教育委員会を閉会いたします。

長時間にわたるご協議ありがとうございました。

—————閉 会 午後 3時35分—————